

紫外線量、12~14時がピーク 窓から2m離れると急激に減少

学校内紫外線曝露と対応策、山口県学校薬剤師会が調査

カーテン閉めたり、机の位置を変えると効果的

ヒートアイランド対策

東京都はヒートアイランド対策の一環として昨年度、公立学校の運動場芝生化事業に経費補助を行った。ヒートアイランド現象は、緑・水面の減少や地表面の人工化が原因の一つと

緑化推進 緑化も

点事業

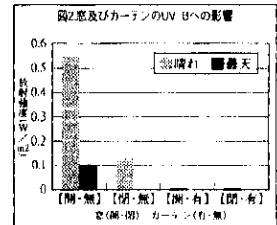
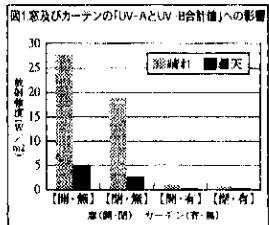


都的環境科学研究所では、すでに校庭を芝生化している杉並区立の和泉小学校と、隣接する和泉中学校のグランド舗装の校庭とを比較調査をした。それによる



山口県学校薬剤師会副会長
(社団法人山口県)
薬剤師会理事
杉山悦代氏

窓の開閉、カーテンの有無による紫外線の強さ



9月13日、午前10時5分から10分間、窓の開閉及びカーテンの有無による紫外線放射強度を測定した(図1,2)。この測定の間、太陽は全く雲にかからない状況であった。また、使用されているカーテンの色はクリーム色、材質はポリエステル混紡、平均の厚さは0.34mmであった。

紫外線保健指導 マニュアル2006

環境省、3年ぶり改訂



晴れた1日のUV強度変化をUV-AとUV-Bの合計値でみると12時から14時がピークとなり、16時過ぎには朝8時とほぼ同じ強度に減少した。グラウンドでの軽度の運動中のUV放射量を固定器と腕取付器で測定すると、腕取付器/固定器の値が0.55で、運動を行うことで固定した場合の約半分の被曝量となることがわかった。

環境省はこの6月、紫外線量が年間最大となるこれからの季節に備え「紫外線保健指導マニュアル」改訂版を発行した。このマニュアルは初版が03年に作成されており、04年にウェブ上の情報のみを改訂、冊子として改訂されるのは3年ぶりとなる。改訂にあたっては、古いデータの更新に加え、内容をより身近でわかりやすいものにすることを目的とした。編集委員にはこれまでの医療・環境保健関係者に加えて養護学校や大学看護学部の関係者を迎え、保健指導

教室内では窓から28cmの距離で前から後ろへ1mごと、また教室の前、中央、後部の位置で窓から廊下にかけて1mごとに測定。その結果、太陽の高度の影響で真夏より秋の方がUV量は多かった。しかし窓ガラスで

保健指導の面を充実し平易に
したが、日光の浴びすぎが有害であることがわかってきました。赤ちゃんの皮膚はデリケートであり、散歩に連れて行く時には日光を浴びすぎないように注意が必要。子どもにとっては日光浴よりも外気浴が大切と言われています。紫外線には

紫外線の面を充実。また、化粧品メーカーからも委員を迎えて、日焼け止めクリームを塗る量や塗り方もイラスト入りで解説している。「昔は日焼けが健康の象徴のように考えられていた

紫外線による影響を防ぐには」の章は大幅に改訂。分量も増やし、日焼け防止剤の種類や効果、使用法などを詳述している。残部は郵送料のみで配布するほか、環境省ホームページ(http://www.env.go.jp/chemi/uv/uv_manual.htm)にもPDF版で公開されている。

この結果を受けて杉山氏は「教室では窓やカーテンを閉める。机の位置を変えることにより紫外線を遮断し、紫外線の発病率にも影響する可能性がある」と話している。

等教育学校で取り組んだ。組んでいただきたい。壁面緑化は朝顔やヘチマなど、授業の一環としてできるの各校でぜひ取り組んでいただきたい。都環境局では7月14日、東京都議会議員会堂・都民ホールで「ヒートアイランド対策シンポジウム」を開催する。問い合わせは計画課 ☎ 03・5388・3356。

温上昇に注意する必要があります。部活動は最も紫外線が強い12~14時の時間帯は避けたい方がよいでしょう。細胞分裂の盛んな子どもに紫外線を浴びると、将来の皮膚がんの発病率にも影響する可能性があります。紫外線の特性を知り、特に子どもには気をつけていただきたい」と話している。

の臨床
5800円)税5%
い傷
3800円)税5%
診断治療ガイド
5700円)税5%
の皮膚疾患
4500円)税5%